御　中

平成　　年　　月　　日

アイカ工業株式会社甚目寺工場
化成品カンパニー
品質管理グループ
問合わせ先 052-443-4811

ＭＳＤＳ（製品安全データシート）のご送付案内とお願い

拝啓

貴社いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、労働省の有害性等情報通知制度に基づき、下記品目のＭＳＤＳを送付させて頂きます。お取り扱いをされます貴社関係者のすべての皆様方に当ＭＳＤＳをご参考にして頂き、有害性情報等についてご周知くださるようお願い致します。

尚、誠に恐れ入りますが、ＭＳＤＳを受領されましたら「受領書」欄にご記入のうえ、速やかに弊社返送先までＦＡＸにてご返送くださいますよう、併せてお願い申しあげます。

敬具

店所記入欄

店所名：　　担当者：

ご送付日　　平成　　年　　月　　日

ＭＳＤＳ送付先顧客様　　TEL

製 品 名

記入のうえ顧客様送付前に甚目寺工場生産企画課宛にＦＡＸお願いします。

ＭＳＤＳ受領書

製品名

返送先

アイカ工業株式会社甚目寺工場
生産企画部
FAXNo.052-443-4825

平成　　年　　月　　日

貴社名：　　ご担当部署：　　ご担当者名：　　印

ご住所：　　TEL：

ご記入のうえ切り離さず本紙をそのまま返送先までＦＡＸにてご返送下さいますようお願い申しあげます。

以下、余白

製品安全データシート

1製造者情報

会社名　　アイカ工業株式会社
住　　所　　愛知県あま市上萱津深見 24 番地
担当部門　　化成品カンパニー　品質管理グループ
電話番号　　052-443-4811　FAX 番号　　052-443-4825
緊急連絡電話番号　　担当部門に同じ

整理番号　ＤＲＡ－０１３６－６

作成日　２００４年　９月　６日
改訂日　２０１０年　４月１５日

製品の名称　　アイカ水性プライマー　ＲＡ－９００

2危険有害性の要約

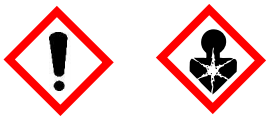
ＧＨＳ分類：

急性毒性／経口	区分 5
急性毒性／経皮	区分 5
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A-2B
生殖毒性	区分 2
標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分 1（中枢神経系、腎臓、全身毒性）
	区分 3（気道刺激性）
標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分 2（血管、肝臓、脾臓）

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：飲み込むと有害のおそれ
皮膚に接触すると有害のおそれ
強い眼刺激
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器（中枢神経系、腎臓、全身毒性）の障害
眠気およびめまいのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期ないし反復暴露による臓器（血管、肝臓、脾臓）の障害のおそれ

注意書き：

【予防対策】
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用し、換気を充分行うこと。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 容器を密閉しておくこと。

【対応】
- 火災の場合には適切な消火方法をとること。
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- 皮膚に付着した場合、付着物をふき取り、多量の水と石鹸で洗う。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

・ 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
【保管】・ 容器を密閉して涼しく換気の良い場所で保管する。
【廃棄】・ 内容物や容器は焼却設備で少量ずつ焼却する。又、産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。

3組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物
化学名又は一般名　アクリル樹脂系エマルション
別名
化学特性
成分及び含有量

成　分　名	含有量（%）	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	CAS番号
アクリル変性樹脂	21～25		－
イソプロピルアルコール	1．5	2－207	67－63－0
水・その他	75～78		－

労働安全衛生法：第57条　表示対象物質；イソプロピルアルコール
第57条2項　通知対象物質；イソプロピルアルコール
PRTR法　：該当せず

4応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動させて安静，保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水と石鹸でよく洗う。かゆみ，炎症が出た場合は、直ちに医師の診断を受ける。
目に入った場合：清浄な水で15分間以上洗眼し、直ちに眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗い、コップ1～2杯の水または牛乳を与え、直ちに医師の手当を受ける。被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。

5火災時の措置

消火剤：水［○］，二酸化炭素［○］，泡［○］，粉末［○］，乾燥砂［○］
その他（　強化液　　）
使ってはならない消火剤：情報なし
火災時の特定危険有害性：消火放水等で化学物質が河川、下水などに流出しないように適切な処理をすること。
特有の消火方法：このもの自体に可燃性はないが、水分蒸発後の乾燥物は可燃性である。
燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。
消火を行う者の保護：保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋，有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

6漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。作業の際には長靴，手袋，保護眼鏡などの保護具を着用する。必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項：多量の場合には流路を盛土などで囲って流出を防止する。漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法・機材
除去方法：多量流出の場合は盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからバキューム等で汲み上げ、おが屑，土砂，パーライト等を混ぜ、モルタル状として凝固回収する。又、少量流出の場合は吸着剤（土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
二次災害の防止策：付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消化剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。
※ 流出，その他の事故が発生した時は、警察署，消防署等の関係機関に連絡する。

7取扱い及び保管上の注意

取扱い：技術的対策：取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
注意事項：容器を転倒、落下、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な取扱はしない。
製品の霧状物や湿気含有物を吸入しないようにする。
安全取扱注意事項：作業場の換気を十分行う。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
保　管：凍結，直射日光を避け、屋内で保管すること。
保管時の温度は、５℃以下あるいは３５℃以上とならないようにする。
使用後は密封して貯蔵する。
混合接触させてはならない物質：知見なし。
容器包装材料：容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。
金属容器は内面コートして腐食しないものを使用すること。

8暴露防止及び保護措置

設備対策：蒸気またヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
機具類は防爆構造とし、設備は静電気除去対策を実施する。
取扱場所の近くに洗眼及び、身体洗浄の為の設備を設置する。
管理濃度：

成分名	管理濃度
イソプロピルアルコール	ppm

保護具　：呼吸器の保護具：状況に応じ、有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具：状況に応じ、ＰＥ，ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
目の保護具：状況に応じ、側板付保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面）を着用する。
皮膚及び身体の保護具：状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。
適切な衛生対策：取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9物理的及び化学的性質

物理的状態
形状　：液体
色　：乳白色液状
臭い　：僅かに固有臭
ｐＨ　：約４
物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲
沸点　：（水分散体）　融点（流動点）　：（水分散体）
分解温度　：（水分散体）　引火点　：示さず
発火点　：示さず　爆発特性　爆発限界：示さず
蒸気圧　：（水分散体）　比重　：約１．０（２０℃）
溶解性　水溶解性　：任意に分散する
溶媒溶解性：アルコールや親水性溶媒には分散する
その他のデータ　：

１０安定性及び反応性

安定性：通常の取扱条件（常温、屋内）においては、化学的に安定。
危険有害反応可能性：なし
避けるべき条件：５～３５℃以外の温度条件での保管厳禁
開放状態では表面から硬化し膜張りが生じる為密栓すること。
混触危険物質：
危険有害な分解生成物：知見なし。
その他：

１１有害性情報　急性毒性：ラット 経口（LD_{50}）

	イソプロピルアルコール
経口　LD_{50}	３４３７mg/kg

急性毒性：ウサギ　経皮（LD_{50}）

	イソプロピルアルコール
経皮　LD_{50}	４０５９mg/kg

眼に対する重篤な損傷/刺激性：含有する有機溶剤は眼に対し、刺激性がある。
生殖毒性：含有する有機溶剤は生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑いがある。
特定標的臓器/全身毒性－単回暴露：含有する有機溶剤は臓器（中枢神経系、腎臓、全身毒性）の障害、呼吸器への刺激のおそれがある。
特定標的臓器/全身毒性－反復暴露：含有する有機溶剤は長期ないし反復暴露による臓器（血管、肝臓、脾臓）の障害のおそれがある。

１２環境影響情報　漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。
生態毒性：水性生物毒性：９６ｈ　ＬＣ５０＞１００mg／Ｌ（ヒメダカ）
残留性/分解性：知見なし
生体蓄積性：知見なし
土壌中への移動性：知見なし
他の有害影響：魚毒性：河川等に流出した場合には、エマルジョン中の樹脂の粘着による呼吸困難のため、魚類が死亡する場合がある。

１３廃棄上の注意　残余廃棄物：廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では廃油と廃プラスチック類の混合物で、焼却する場は、焼却設備を用いて少量ずつ焼却する。関連法規・法令を遵守する。
又、産業廃棄物として処理する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
洗浄水等の廃水は凝集沈殿，活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。
水質汚濁防止法に御注意下さい。
汚染容器・包装：内容物を完全に除いた後、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

１４輸送上の注意　国内法規制
陸上輸送　：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上運送　：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送　：航空法に定められている運送方法に従う。
国際法規制　：航空輸送はＩＡＴＡ及び海上輸送はＩＭＤＧの規制に従う。
国連分類・国連番号　：国連の分類基準に該当しない。
輸送の特定の安全対策および条件：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
その他　：直射日光厳禁。温度５～３５℃厳守。常にシート等で覆い、昇温を防止すること。

１５適用法令　労働安全衛生法：第５７条　表示対象物質；イソプロピルアルコール
第５７条２項　通知対象物質；イソプロピルアルコール
化審法：特定化学物質・指定化学物質に該当しない。
消防法　危険物：該当せず
毒物劇物取締法：該当せず　船舶安全法：該当せず
化学物質管理促進法（ＰＲＴＲ法）：該当せず　海洋汚染防止法：該当せず

１６その他の情報

ホルムアルデヒド基準：（日本接着剤工業会）室内空気質汚染対策のための自主管理規定
ＪＡＩＡ００６２６０　Ｆ☆☆☆☆

４VOC放散速度基準：
日本接着剤工業会自主管理規定　ＪＡＩＡ－４００４９４　４VOC基準適合

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献

１１３１９７の化学商品　化学工業日報社
2 化学物質の危険，有害便覧　中央労働災害防止協会
3 知っておきたい職場の化学物質　中央労働災害防止協会
4 製品安全データシートの作成指針　日本化学工業協会
5 ACGIH 化学物質と物理因子の TLVs 化学物質の BELs(1999 年)　日本作業環境測定協会